

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて、現時点での配備状況と利用実績を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

1 配備状況及び利用実績

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) サイクルポート設置箇所数 | 15箇所（10月1日時点）詳細は別紙1のとおり |
| (2) データの集計期間 | 7月20日から7月31日までの12日間 |
| (3) 利用実績 | 別紙2のとおり |

2 今後の課題

(1) 運用上の課題

各サイクルポートにおいて、貸出・返却割合の差による自転車の集積、バッテリー切れに伴う使用不能な自転車の集積が見られるため、再配置及びバッテリー交換を強化する必要がある。

(2) 事業展開上の課題

サイクルポートが少ない地域に設置を進め、シェアサイクルの利用エリアを拡大するとともに、今後のシェアサイクルの利用状況を踏まえて、適正台数を検証していく必要がある。

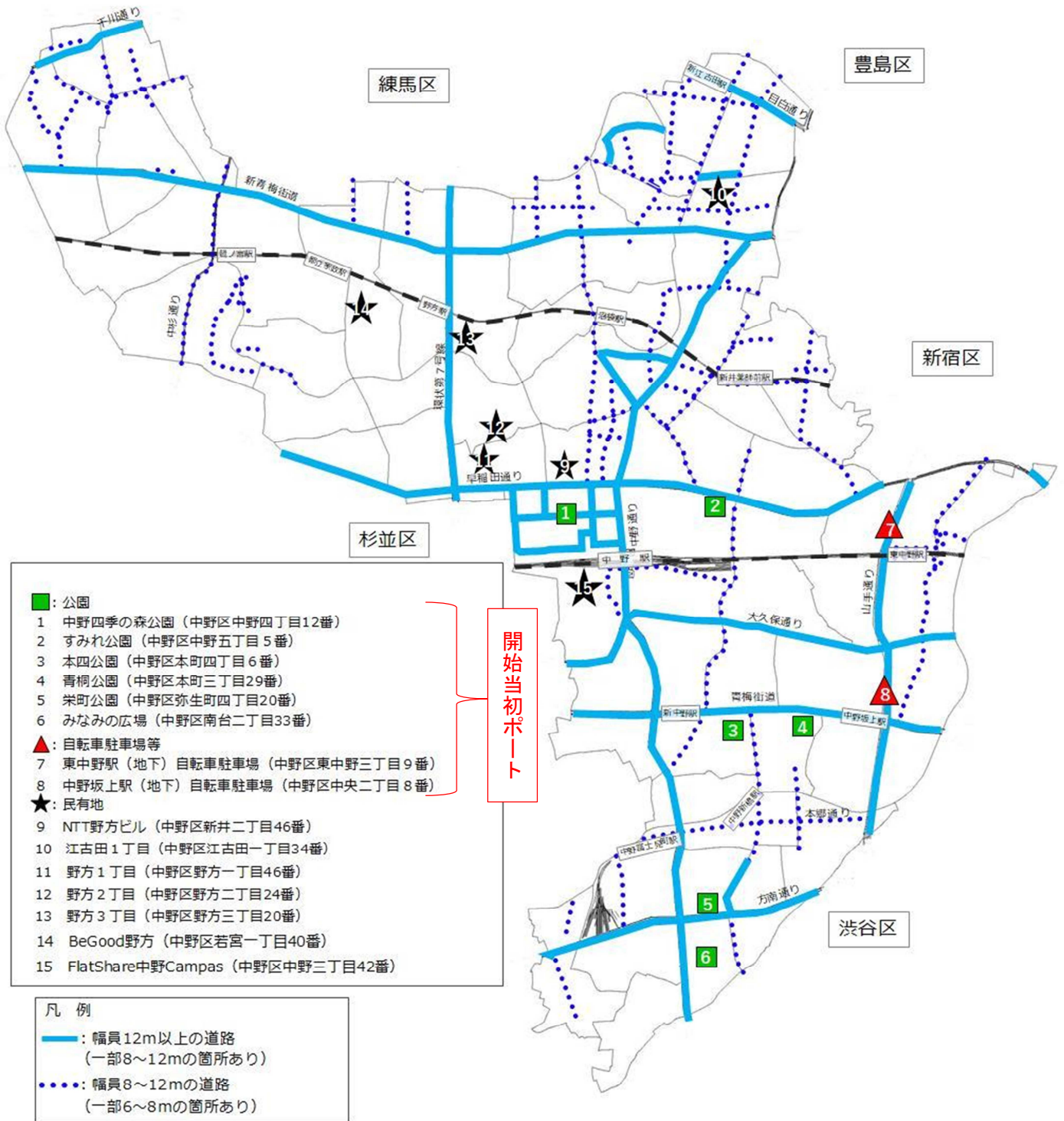


図 サイクルポート設置箇所(令和2年10月1日時点)

1. 会員登録数

【会員登録数】

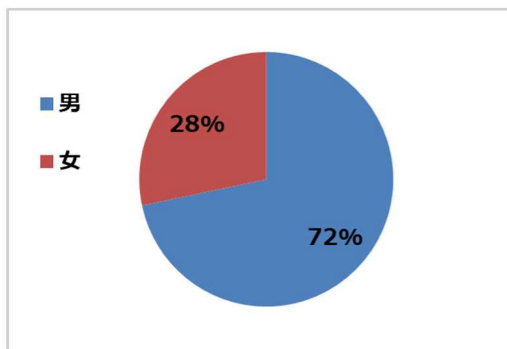
プラン	月末会員登録数	月間アクティブ	純増
一回会員	314	120	314
月額会員	10	8	10
法人会員	0	2	0
1日バス	0	0	0
合計	324	130	324

【1日あたりの平均登録数】

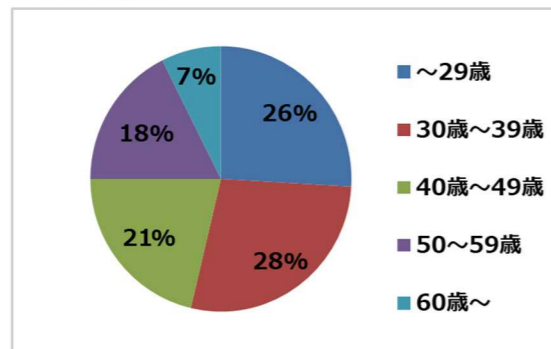
中野区	27人
【参考】広域連携区(10区)の状況 ※7月の一ヶ月間	
10区平均	49人
最大値	82人
最小値	21人

2. 会員属性(性別、年齢構成、住所)

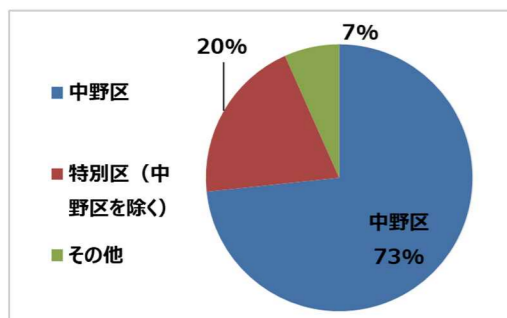
【性別】



【年齢構成】



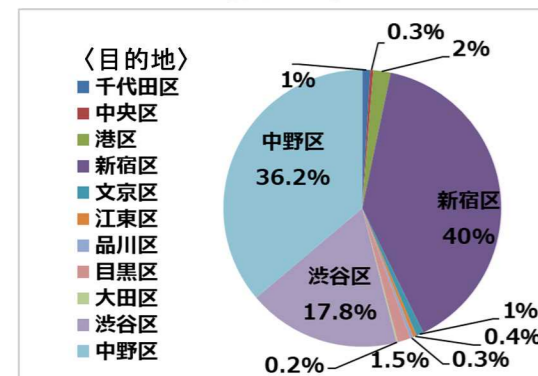
【住所】



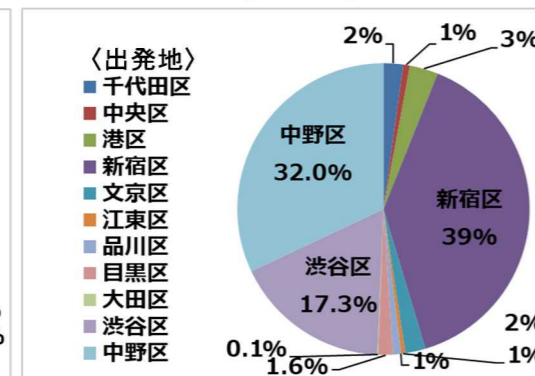
・男性の登録比率が高い。
・39歳までの登録が半数以上を占めているが、幅広い年代が登録している。
・中野区民の登録数が大半を占めている。

3. 中野区ポートの目的地・出発地別利用回数割合

【貸出】



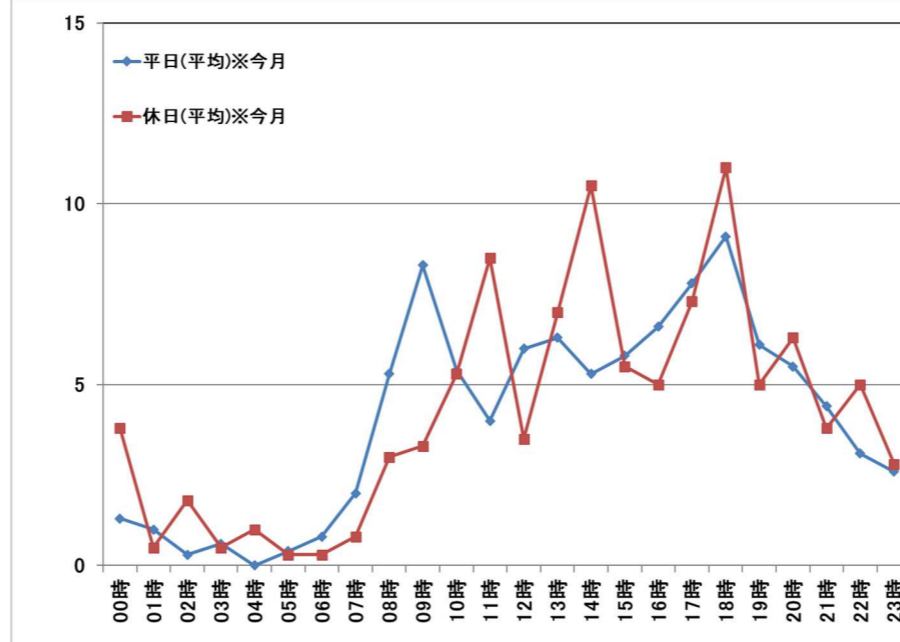
【返却】



・貸出・返却ともに、区内移動は全体の約3割となっており、新宿区及び渋谷区への区外移動が半数以上を占めている。

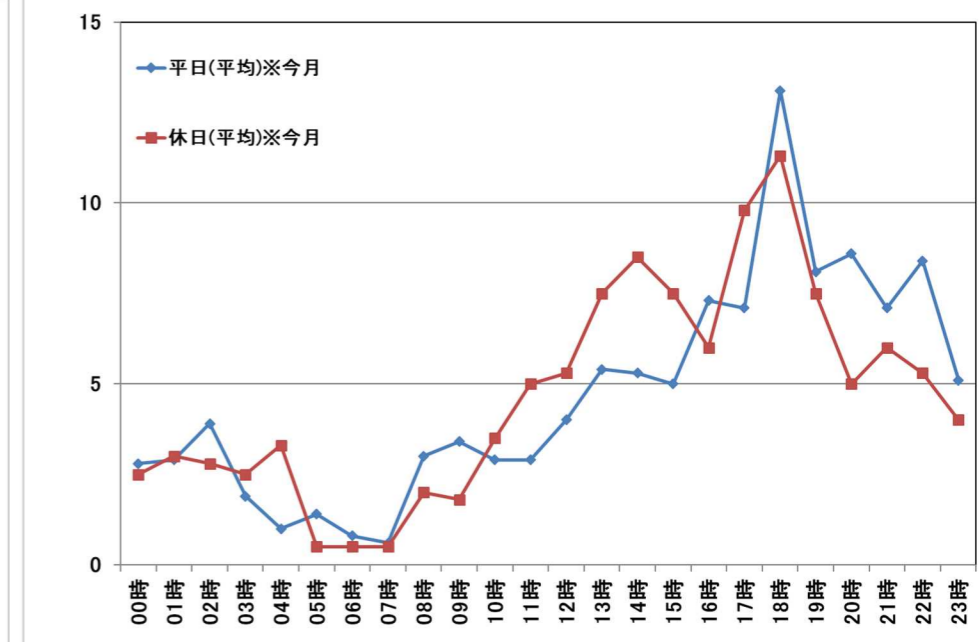
4. 時間帯別利用回数(1日平均)

【貸出】



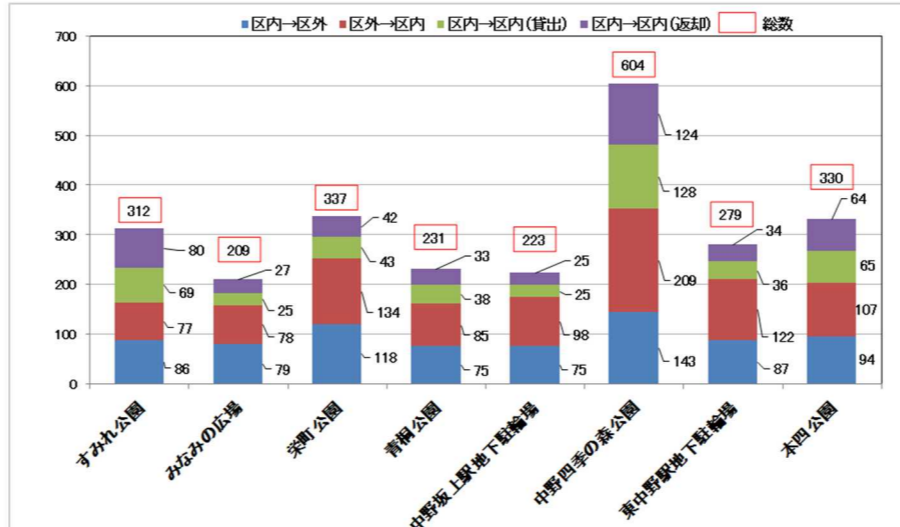
・平日は朝と夕方の通勤・通学時間帯の貸出が多く、休日は日中の貸出が多い。

【返却】



・平日休日ともに夕方から夜間にかけて返却が多い。

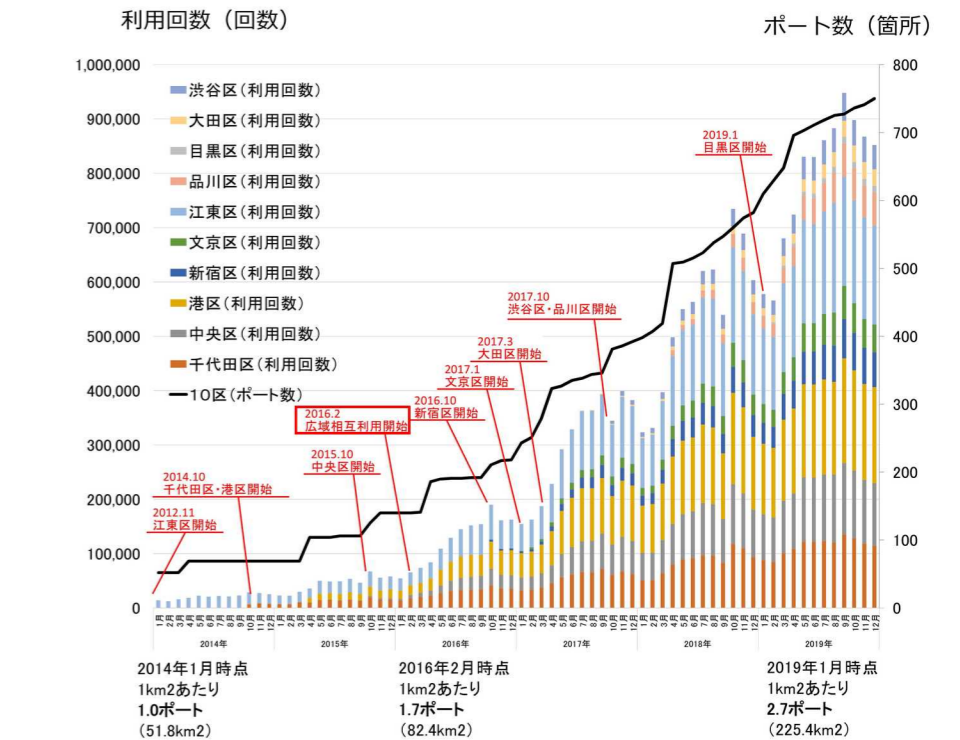
5. ポート別利用回数



・中野区内ポート別の利用回数については、中野四季の森公園が一番多く、その他ポートは同程度の利用回数となっている。
・区内から区外への流出割合より、区外から区内への流入割合の方が若干多い。

(参考) 広域相互利用の状況

※東京10区広域相互利用(千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・江東区・品川区・目黒区・大田区・渋谷区)



※出典：第1回シェアサイクルの在り方検討委員会資料

・2016年2月の広域相互利用開始前における月毎の利用回数はほぼ横ばいであったが、2019年12月の利用回数は広域相互利用開始時と比較して17倍近く増加している。
・会員登録数は、2020年7月末時点で約68万人。2019年7月末時点での約50万人から1年で約18万人増加している。